

進研模試3年9月マークで扱われた 共通テストで問われる力・差がつく問題

進研模試3年9月マークは、共通テストを見据えた出題形式・難易度で、本番に向けた意識づけを行うとともに、現時点の学力を測定します。正解率の低かった問題や差がついた問題の、理解・思考のポイントを確認し、「直前演習」での問題演習をとおして、共通テストに向けた解答力を養っていきましょう。

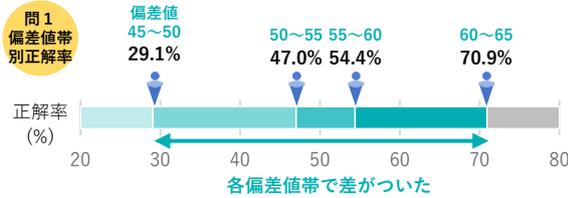
第2問問1：正解率41.8%

問1 太陽や地球は、そのエネルギーを電磁波として放射している。電磁波について述べた次の文章中の「ア」・「イ」に入れる語の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [7]

電磁波は、波長によってX線や紫外線、可視光線、赤外線、電波などに分類される。紫外線と赤外線をくらべると、その波長は「ア」の方が長い。また、太陽放射では「イ」が、地球放射では「ア」が最も強く放射されている。

	ア	イ
①	紫外線	可視光線
②	紫外線	赤外線
③	赤外線	可視光線
④	赤外線	紫外線

問2 前ページの図1において、大気の温室効果が生じていることを示す領域はA～Dのどこか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。
① A ② B ③ C ④ D

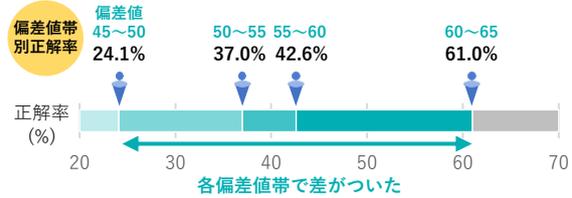


第3問B問3：正解率34.5%

問3 観測技術の進歩により、太陽以外の恒星のまわりを公転する惑星(系外惑星)が多数発見され、それらに関する研究がさかんに行われている。系外惑星を観測することで、太陽系の複数の惑星の特徴を組み合わせたような特徴をもつ惑星も宇宙には存在することがわかってきた。次の文章中の下線部(ハ)～(ド)のそれぞれの特徴をもつ太陽系の惑星の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [12]

ある系外惑星の「平均密度は地球より小さいが木星より大きい。また、この系外惑星の「大気中に最も多い成分は水素であり、その他の成分としてメタンが含まれる。さらに、「大気の下には液体の水からなる海が存在する可能性がある。

	(ハ)	(ニ)	(ホ)	(ド)
①	土星	金星	地球	
②	土星	天王星	火星	
③	海王星	金星	火星	
④	海王星	天王星	地球	



知識を活用して考察する問題

共通テストでは、与えられた図から読み取った情報と、地学基礎で学習した知識を組み合わせて考察する問題がみられます。基礎的な知識を定着させたいうえで、問題演習を通して、知識を活用して考察する力を身につけておきましょう。

直前演習で類題に取り組みます

- 第2回第2問問1：地球が放射する電磁波を問う問題
- 第5回第4問問1：地球のエネルギー収支に関する問題

ほか

知識を活用して判断する問題

系外惑星の密度や大気成分などから、太陽系のどの惑星に似ているかを推定する問題です。共通テストでもよく扱われる太陽系の惑星の特徴について、しっかり理解しておけば正解しやすい問題ですので、関連事項も含めて整理しておきましょう。

直前演習で類題に取り組みます

- 第1回第3問問2：惑星の半径や密度に関する問題
- 第6回第3問問1：惑星の大気や自転に関する問題

ほか



2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 地学基礎

販売価格 960円(税込)
販売形態 問題冊子×解答冊子
問題バラ×解答バラ
冊子判型 B5判(問題・解答解説)

ダウンロード
● 問題・解答解説PDF
● 手書き解答例PDF
● 活用ガイドPDF
● 地学 予想問題PDF
● マーク集計Plus

自動集計ツール対応
● Google Forms
● Microsoft Forms



「進研学参」は株式会社ベネッセホールディングスの登録商標です。